

## ◆ 会員紹介 25

### 特定非営利活動法人 茨城の暮らしと景観を考える会

#### ～ 民主導のまちづくり テーマごとのチームで ～

地域独自の文化、暮らしを違和感なくつなぎ合わせ、より豊かさの感じられる地域へ。そんな地域づくりをめざし、私たちのNPOは平成15年5月に発足しました。

設立当初は3部会を中心に事業を進めました。景観部会では県と市町村合同の「景観研究会」や「景観シンポジウム」、弘道館での「雅楽の演奏会」を開催。農村部会では「シンポジウム観光立国と農業」や、農村地域を考える勉強会を開催。街なか部会では水戸芸術館や青年会議所とともに「街なか再生連続講座」を実施、「水戸空間診断」という冊子も発刊。



雅楽の演奏会 (H15)



景観研究会 (H15)



シンポジウム (H16)



水戸空間診断 (H16)

これらの事業は、文部科学省や内閣官房都市再生本部の事業費を活用しました。そして、これらの活動により、茨城県より「まちづくりグリーンリボン賞」を受賞しました。その後、より機動的に事業を推進する必要性から、活動を部会制からプロジェクト制に移行しました。テーマごとに志を共有する仲間がチームを作り、事業を推進するスタイルです。

最初に手掛けたのが「セントラルビル創業支援プロジェクト」。リノベーション物件を活用したチャレンジショップ事業で、若手店主たちとチームを組みました。並行して、商店街や女子高生たちと連携し、商店街の花壇づくりを始めました。これらの事業には、水戸市のチャレンジショップ補助金等を活用しました。



セントラルビル創業支援プロジェクト (H16～19)



花壇づくり (H17～18)

一方で、全県的な産官学70団体近くの支援を受け「水戸オセロプロジェクト」がスタート。オセロ発祥の地で開催された「第30回世界オセロ選手権大会」には世界27の国と地域が参加、大成功に導きました。この活動で、茨城県より「イメージアップ大賞奨励賞」を受賞しました。また、女性団体等と連携し「地域づくり団体全国研修交流会茨城大会」の分科会「歴史と文化で我が街に元気を！」を主管、全国から40名の参加を頂きました。



水戸オセロプロジェクト (H16～18)



地域づくり (H20)

これら行政や住民との協働による地域づくりが評価され、平成17年には茨城県より「景観整備機構」の指定を受けました。平成20年には水戸市より「中心市街地整備推進機構」に指定され、水戸商工会議所と共同で「水戸市中心市街地活性化協議会」を設立しました。

前後して、「映画づくりから始まる地域づくり」事業が始まりました。映画好きはもちろん、まちづくりや歴史に関心の高い人たちとチームを組み、産官学100団体近くの支援を受け、全県的なプロジェクトとして展開しました。内閣官房地域活性化統合本部の事業費や県・市の補助金を活用し、国内最大規模のオープンロケセットの建設と大型時代劇映画『桜田門外ノ変』の全国ロードショーを実現。オープンロケセットは撮影終了後、展示館を増設して一般公開、3年間で30万人の入場者がありました。映画の鑑賞者も全国で80万人にのぼりました。この事業により、まちづくり功労者として「国土交通大臣表彰」を、また茨城県より「いばらきイメージアップ大賞」「いばらきロケ大賞」「まちづくりグリーンリボン賞」を、また日本アカデミー賞の「優秀美術賞」「協会特別賞」等を受賞しました。

さらに震災後の平成24年には、茨城県の「新しい公共の場づくりのための提案型モデル支援事業」にエントリーし、北茨城市や地元のまちづくり関連団体と連携しながら東日本大震災の被災地・北茨城市の復興支援プロジェクトを展開しました。



映画づくりから始まる地域づくり (H18~25)

新しい公共の場づくり (H24)

そして現在は、茨城県や水戸市、また地元の工務店と連携し、水戸城址における歴史的景観形成事業を進めています。これは、水戸城址の歴史的景観の形成を推進するために、県立水戸第三高等学校の敷地に、武家屋敷風の意匠を凝らした白壁塀及び石垣風擁壁、高麗門等を設置する事業です。高校から外塀の敷地を無償で借り受け、水戸市の社会資本整備総合交付金を活用して整備するものです。

また、水戸市でも中心市街地の衰退は大きな課題です。水戸商工会議所と共同設置している「水戸市中心市街地活性化協議会」として、「リノベーションまちづくり」に全力で取り組んでいます。民間主導で空き店舗などの遊休不動産を活用して新しいビジネスや活動の場を作り、エリアの魅力の向上を図ろうとするものです。



水戸城址における歴史的景観形成 (H26~27)

リノベーション (H27~)

これらの活動を通して実感することは「民が地域を刺激する」ということ。一人一人が自分たちの地域のために、民主導で志を持って立ち上がること。

閉塞した社会の中で、一つでも二つでも新しい時代へ向けての第一歩を、仲間たちとともに、自分たちの地域の中から生み出してゆく努力が必要です。

地方創生の基本は、そんなところにある気がしています。

### 特定非営利活動法人 茨城の暮らしと景観を考える会

〒311-4153 茨城県水戸市河和田町4471-45

TEL:029(253)6540 FAX:029(255)2555 <http://www.sunshine.ne.jp/~will/>